

運輸安全マネジメントの取り組み

(安全は、すべてに優先する)

平成18年10月から、すべての運送事業者は安全運転マネジメントの導入により絶えず輸送の安全性の向上に努めなければならない。

株式会社ジャパントローズは、「お客様第一義」を基本に、プロドライバーとして、職業意識に徹し、事故防止に努め、お客様の生命・財産を守ることを使命といたします。

◎運輸安全マネジメントとは

- 1、安全性の向上のために計画を作成する。
- 2、計画に基づく安全対策を実施する。
- 3、実施したことによる効果を評価する。
- 4、改善ポイントを整理し、さらに計画を改善し実施する。

◎具体的には・・・輸送の安全に関する取り組みが必要となる

- 1、部門経営者は、輸送の安全の確認に最終的には責任を負う。
- 2、輸送の安全に関する基本的な方針を策定し、従業員に十分周知させる。
- 3、基本的方針に基づいて、輸送の安全の確保に関する目標を設定する。
- 4、情報の共有や伝達が確実に行われるようにする。
- 5、運輸安全マネジメントの実施状況などを事後チェック(評価)し、改善点の有無を検証する。
- 6、業務の改善を行い、次の目標や計画に反映する。
- 7、運輸安全マネジメントの取組について、記録を適切に管理する。

【実践実施事項】

◎SDが重点的に取り組む事故防止事項

- (1) 道路交通法、法令遵守及び交通安全に向けた交通マナーを徹底する。
- (2) 社内ルールの遵守（社速の遵守、事故防止統一項目、携帯電話使用のルール）
- (3) 交通弱者（歩行者、自転車、二輪車）に対する思いやり運転の実施
- (4) 車両の整備、洗車、挨拶の励行と安全運転心得5ヶ条の実践
- (5) 車両内の3Sの徹底（整理・整頓・清掃）
- (6) 感情に流されず優先意識を捨て、安全確保のため譲る行為を徹底する。
- (7) 強いプロ意識の保持（いかなる理由が有ろうとも車両事故は起こさない想い）

事故件数目標

- * 車内車外人身事故 ゼロ件
- * 物損加害事故 ゼロ件
- * 物損被害事故 ゼロ件

【事故0（ゼロ）運動】の実施

- ・ 事故0（ゼロ）重点日 毎月23日とする。
- ・ 事故0（ゼロ）重点週間 毎月24日から月末日までの間とする。
- ・ 事故0（ゼロ）重点月間 10月の1ヶ月間とする。

事故に関する統計

	車外人身			車内人身		合計
	死者	重傷者	軽傷	重傷	軽傷	
2021年度	0	0	0	0	0	0
2020年度	0	0	0	0	0	0

「貸切バス安全性評価認定制度」とは

貸切バス事業者の安全性や安全の確保に向けた取り組み状況を評価し認定・公表することで、貸切バスの利用者や旅行会社がより安全性の高い貸切バス事業者を選択しやすくするとともに、本制度の実施を通じ、貸切バス事業者の安全性の確保に向けた意識の向上や取り組みの促進を図り、より安全な貸切バスサービスの提供に寄与することを目的としています

■ 安全評価 一ツ星（★） 認定 （2020年度審査にて）

■ 安全評価 二ツ星（★） 認定獲得に向けて取り組み中
（2022年度審査にて）

株式会社 ジャパンタローズ
代表取締役 和佐見 文男

安全性評価認定証

認定証番号
20-152

株式会社ジャパントローズ 様



貸切バス事業者安全性評価認定委員会において、
安全性評価認定(★)いたしましたことを証明します。

認 定 日 : 2020年9月30日

有 効 期 限 : 2023年3月31日まで

貸切バス事業者安全性評価認定委員会

公益社団法人 日本バス協会

